

会社にひそむ「ムダ作業」を見つけよう！ ～DXやAI推進前に知りたい効率化のヒケツ～

■研修のねらい・背景

仕事は日々忙しさを増します。そこでDXやAIを推進して業務を楽にしようと奮闘するも楽にならない。それどころか、逆に忙しさが増したようにも感じてしまいます。ソリューションありきでは成果を出すのは難しい！そこで、職場に眠っている役目を終えた「ムダ作業」を見つけて改善するテクニックをお伝えします。明日からすぐに始められるDXの一步です。

■期待される効果

DX推進や業務改善における社内抵抗への理解が深まり、具体的な対処法を習得できます。これにより、変革を推進するリーダーシップが向上し、プロジェクトの成功率が高まります。さらに、社内の協力体制が強化され、DXや業務改善の環境が整い、より効果的な変革が期待できます。

■研修プログラム（例）

1. DX デジタル改革について
 - ・ DXで大切なこと
 - ・ DXの考え方
2. DX推進における勘違い
 - ・ デジタルシフトやDXを知る
 - ・ 考え方や進め方の違い
 - ・ DXまでのステップ
3. 勘違いされがちな改善策
 - ・ ブルックスの法則
 - ・ パーキンソンの第一法則
 - ・ ITソリューションありきでDX（業務変革）や業務改善を考える
 - ・ 運用（定着）のステップが無視される
4. 普段の仕事からムダを見つける
 - ・ DX推進の「気づき」も見えるようにしておこう
 - ・ 解決策の考え方フレームワーク
 - ・ DX推進の「気づき」も見えるようにしておこう
 - ・ 属人化の甘い罠
5. 両輪「変革（DX）」と「改善」をまわすプロジェクトの進め方
 - ・ 失敗するプロジェクトもある
 - ・ 課題一覧を使って課題を洗い出す
 - ・ 業務改善・変革（DX）推進方法

■スライドイメージ

DXで大切なこと

デジタル技術は「手段」であって「目的」ではない

デジタル技術で「何がしたいのか」を考える

「技術を理解」するのではなく、「技術の使いやすさ」を考える

概念や技術の話はいらない。
お客さん(私たち)は何をしたいのかを考える

「改善」と「変革」の違いを知っていますか？

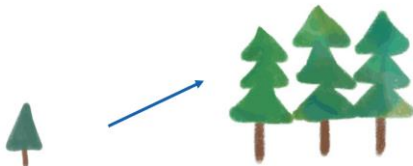
▶ 現状肯定
▶ ビジネスの前提を変えずに、
その範疇で創意工夫
▶ いまあるもの(プロセス)を
よりよくする

「改善」
「変革」

▶ 価値創造。現状否定。
▶ 自組織が有する強みをベースに全く新しいビジネスモデルやプロセスを生み出す

DXは業務変革です！

DXは“アジャイル思考”で小さく始めて大きく育てる。



勘違いされがちな改善案

策として採られる代表的な1つ

人員の追加



人員を増やしても、
仕事は楽になりません

大切なスキル

普段の仕事からムダを見つける！



私だけ…の優越感 属人化の甘い罠



▶ 「私にしか分からない」と仕事を抱え込む
▶ OOさんに聞かないとわからない仕事
▶ 「自分のルールがみんなのルール」で進める人

MUDA POINT！

その人がいないと
仕事が進まない

パワーバランスが
崩れる

その人がやめると
仕事が停まる

本当に必要な仕事なのか
分からない